



ひまつぶし
ますも誠二 月刊広報誌
Vol.89



市原市議会議員
ますも誠二

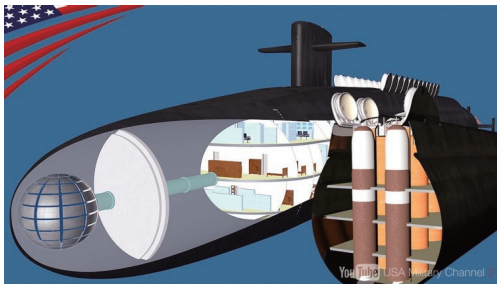


私のLINEのQRコードです。
市原の課題、ご意見をお聞かせ下さい。
今日動きます！
携帯電話(080-1213-7679)

ロシアによるウクライナ侵攻から9ヶ月が経過しました。今、プーチンが核兵器を使用する可能性について様々な見方がされています。米バイデン大統領も、「ロシアが核兵器を使えば、想像を絶する重大な過ちを犯すことになる」と警告。一方、ロシアは、それを嘲笑うかのように、先月核ミサイルの軍事演習を実施しています。

今月の「ひまつぶし」ではその「核」について特集しました。

まずは核保有国から整理していきましよう。米、英、仏、中、露のいわゆる第二次世界大戦の戦勝国5カ国が最初に保有しました。その後、インド、パキスタン、イスラエル。そして、国民の命を犠牲にし核開発を優先した北朝鮮の9カ国が現在保



米国海軍 戦略ミサイル原子力潜水艦(SSBN)

有しています。しかし、実はこの核、大きなリスクを秘めており、自国に犠牲なく効率的に発射できる国はわずか2カ国だけと専門家は見ています。それが米国とロシアなのです。

では、その核ミサイルをどこに隠しているのでしょうか。当然ながら軍事的最高国家機密として誰も知る事ができません。

しかし、専門家は「深海」であると断言します。「海を制してこ

そ世界を制す」と言われる程、海こそが「核」なのです。核ミサイルとは、原子力潜水艦に搭載され、敵に発見されないよう不気味なまでに深海を移動し続けその時を待っているものです。

つまり、自国に深い海が必要となります。日本周辺国が北方領土や竹島の海域をどうしても手に入れない理由がこの事から理解できます。

仮に陸から核ミサイルを発射した場合、広範囲に超高温を発するため、発射地点が瞬時に特定され、敵国からの迎撃により、**自国こそが大被害を被るといふ事なのです。**

一方、深海からの発射は、直後に移動してしまえば、軍事的に特定する事は極めて難しい事です。

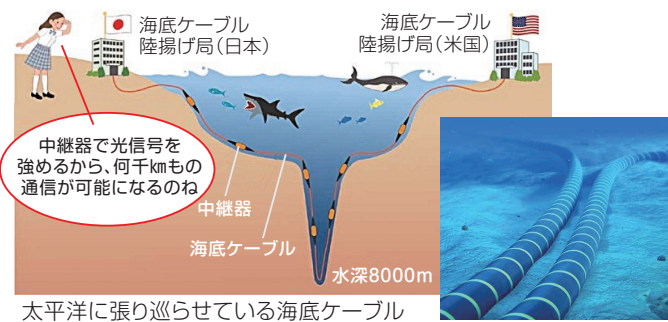
米国に対するロシア

ア、中国の態度が気になります。ロシアは深いオホーツク海を持ちますが、中国はどうでしょう：竹島や東シナ海が手に入らない限りおそらく喧嘩はできません。

最後に、戦争とは「情報戦」とも言われています。インターネットは日常使用されていると思いますが、情報はどこを飛んできると思えますか？人工衛星ですか？実はこれも「海」なのです。ネットの9割は米国による海底インフラであり、光ファイバーを束にして海底ケーブルを張り巡らせているのです。

米国は資源に富み、貿易・軍事力の要である海を有し、ロシアのような凍りつかない環境です。これだけでも米国がいかに強い国か理解できます。

しかし、本当の防衛力とは軍事力(核)に頼らない人間力であるはず。たとえ国境を超えても、**人が人の命を守る普遍的倫理観**だと私は思います。米国には世界のリーダーとして、核のない真の平和な世界を目指して欲しいものです。



参考文献「13歳からの地政学」東洋経済新報社 著 田中孝幸

議員定数を適正削減する事こそ、市原の明るい未来が見えてくる。

「身を切る改革」ってよく耳にしますが、「身を切る」ってどんな事なのでしょう…

私が考える身を切る改革とは、市原市議会であれば、議員定数を大幅削減したり、給与を削減したり、民意を反映できない議員に入れ替える事だと思っています。

当然ながら簡単なことではありません。議員定数とは、条例で定めている事から、条例改正という極めて高いハードルがあります。また、このネガティブな条例改正に対し、賛同が得られないという出足の時点で大きな壁が立ち塞がる事が予想されます。

だけに、今までの議会のあり方では、生産性どころか、マイナスでしかないのが事実です。

今こそ、ムダというムダを全て削減し、投資すべきは投資して、抜本的に市原を創生しない限り、本市の未来はありません。

かつて、沖縄が米軍統治下にあつた時、現在の沖縄県議会は琉球立法院と呼ばれ、保守系も革新系も、一貫して県民に寄り添い、希望や望みを集約して、米政府にぶつけていました。つまり、住民の願いが全部集まる場所が立法院だったからです。

私はこの立法院と我が市原市議会を比較しつつ、今、地方議会のあり方を考えています。

この立法院のように「本来、地方議会というのは民意の広場」でなければならぬはず。私は議員として、発言が許される場では、必ず質

問をしてきました。



本会議には必ず登壇

その理由は、住民の生活課題は途絶える事がないからです。つまり、私たち議員とは、民意を集約し、代弁する性質上、質問に休みはないからです。また、私の8年間の議員生活において、行政から出された議案に対し、議会として否決された議案がありません。これが本当に民意を反映しているのか、市議会の正しい道なのか非常に疑問です。




11月20日市政報告会を行いました

上、常に市民の生活感覚に立つ必要性があります。確かに市原市役所職員の方々は優秀な方ばかりです。しかし、地域にもさまざまな専門家がおり、長年、培ってきた技術・技能・知恵を有し、役所文化では生まれない感性は計り知れないものがあります。そこで、地域全体を統合するには、意思をまとめる専門性と発言力が必要です。そして、行政から出された議案に対しアクセルとして推進し、時には5人削減すれば4年で2億の予算が確保できます。2億の予算とは、大きな「市民サービスが形」となります。我々議員は、市民に最も近い存在で、その民意を集約して「形」にする事こそ、市民から付託を受けた議員の真の責務と言えるのではないのでしょうか。

ますも誠二 プロフィール

氏名	増茂 誠二	資格・学位	救急救命士 危機管理士 修士(救急救命学)
生年月日	昭和42年12月1日	学歴	国士館大学大学院救急救命システム科 修士課程卒業
職業歴	市原市議会議員 (市原市地域保健医療協議会副会長) 国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員 学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐 杏林大学保健学部非常勤講師 千葉市医師会非常勤講師	その他	千葉県パワーリフティング協会会長 市原市剣道連盟顧問(剣道教士七段)



松野ひろがす
自民党
ドクターカー運用の実現に向けて!

氏名 増茂 誠二
生年月日 昭和42年12月1日
職業歴 市原市議会議員 (市原市地域保健医療協議会副会長)
国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員
学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐
杏林大学保健学部非常勤講師
千葉市医師会非常勤講師



辰巳台地域子ども食堂
おんなおんな

開催予定日 **12月17日(土)**
 場所 **辰巳公民館**
 時間 **16:00~18:00**
 料金 **子ども100円 大人200円**
 予約制となります
 連絡先: 090-6031-8494(タルミ)